公益社団法人 日本歯科先端技術研究所

インプラント治療を成功に導く技工連携

–デジタル技術が支える補綴・ガイド・CAD/CAMの実践–

2026年10月18日（日）10:00～12:00

開催様式： Web（Zoom）配信

対　　象： 歯科技工士・歯科医師・歯科衛生士

参加費 会員・会員スタッフ：無料
非会員：3,000円

開会の挨拶

10:00～10:45　講演1　トップダウントリートメントに基づく埋入計画サポートと精度向上のアプローチ

近年、インプラント治療の普及に伴い、安全性と確実性の向上が求められており、包括的な治療を実現するデジタル技術の活用が不可欠となっている。本講演では、インプラント上部構造製作に先立って形態と精度について検討を行う、トップダウントリートメントの実践について解説する。前半では、歯科医師が計画を立案する際のガイドシステムを活用した術前診断や、理想的な歯冠形態と現実的な埋入位置とのギャップを考慮した埋入設計において、技工士の知識を活かしてサポートするアプローチを紹介する。後半では、口腔内スキャナーを用いたデジタル技工を取り上げ、スキャンボディ締結トルク値が補綴精度に与える影響に関する検証結果を報告する。デジタル技術の進展により可能となった、治療精度を高める技工連携の実際を提案する。



理想的な補綴形態と埋入可能なインプラント位置とのギャップを考慮したインプラント埋入設計について

吉村 勇介先生
2007年3月　東邦歯科医療専門学校 卒業
2007年4月　協和デンタルラボラトリー 入社
現在に至る



模型レスインプラント技工における締結トルク値が補綴に与える影響

大谷 順平先生
2018年3月　北海道歯科技術専門学校 卒業
2018年4月　協和デンタルラボラトリー 入社
現在に至る

11:00～11:45　講演2　歯科技工の未来を切り拓く高強度フルカラー3Dプリントの臨床展開



滝沢 琢也先生
1990年 神奈川歯科大学付属歯科技工専門学校 卒業
1990年 株式会社コアデンタルラボ横浜 入社
2022年 株式会社コアデンタルラボ横浜 取締役就任
2023年 株式会社コアデンタルラボ横浜 専務取締役就任

近年、歯科技工分野における3Dプリンターの活用は著しく進展し、模型やサージカルガイド、各種補綴装置など、臨床応用の範囲は年々拡大している。現在主流の液槽光重合法による光重合型3Dプリンターは、高精度かつ安定した造形が可能である一方、単一材料による造形が基本となるため、多色表現を必要とする審美的用途には制約がある。また、臨床応用に耐え得る力学的強度を有する材料も限られている。こうした課題を背景に、インクジェット方式による造形技術が新たな可能性として注目されている。

当社では、株式会社リコーが開発した「材料噴射法（Material Jetting）」に独自のセラミック配合技術とフルカラー 3Dプリントインクを組み合わせ、高強度フルカラー 3Dプリントシステムを構築し、臨床応用を進めている。　本発表では、クラウン、モノリシックフルデンチャー、ボーンアンカードブリッジへの応用症例を紹介し、本技術の可能性と今後の展望について報告する。

11:45～12:00　質疑応答・総合討論

お問い合せ（公社）日本歯科先端技術研究所
TEL:03-5476-2004 FAX:03-5476-2006　E-mail:nissenken@dental.email.ne.jp

（公社）日本歯科先端技術研究所 歯科技工士セミナー参加申込方法

下記必要事項をご記入の上、2026年 10月15日（木）までにQRコードまたは日先研ホームページ（https://www.nissenken.org/）より申込みをお願いします。

必要記入事項　①氏名 ②所属医療機関、診療科 ③所属医療機関住所 ④所属医療機関電話番号 ⑤e-mail ⑥連絡先電話番号 ⑦日先研会員か非会員か